

かわじま 議会だより

No.
152



川島町の幻想的な雲海

Contents

新年のご挨拶	2
12月定例会概要、議会活動レポート	3
常任委員会	4
各議員の賛否	5
町の考えを問う（一般質問）	6～9
川越地区消防組合議会報告ほか	10



川島町議会の
ページはこちら

令和8年2月1日発行
埼玉県川島町議会

新春を迎えて



川島町議会議長

小^こ 峯^{みね}
松^{まつ} 治^じ

皆様、明けましておめでとうござい
ます。

お健やかに新春をお迎えのこととお
慶び申し上げます。

昨年は、我が町でも大きなニュース
がありました。それは、前町長の突然
の辞職により、町長選挙が行われ、五
月十八日、藤間町長が誕生したこと
です。柔軟な発想と行動力で町政を牽引
し、安心して暮らせるまちづくりに邁
進しております。

十月には、女性として初の高市内閣
が誕生、高い支持率の下、物価高対策
を始め諸課題に果敢に取り組んでおりま
す。積極財政で経済・物価・税制等改
革に着手、国民生活を豊かにしていく
としており、地方行政にも大きく影響
していきます。今後の政策に目が離せな
い状況です。

我が国は、少子高齢化により人口減少
が進んでおり、我が町も同様です。今後、
公共施設の廃止・規模縮小等を余儀なく
されます。議会としても、町民の皆様の
ご不便を極力少なくするように考えて参
ります。

また、災害列島とも言われ、大地震の
発生、温暖化による台風の大型化・集中
豪雨など各地で大きな被害が出ています。

我が町は、地震もさることながら周囲
が河川のため、水害に対する備えも重要
であります。町も災害対策には、十分に
意を注いでおりますが、町民の皆様にも
日頃の備えをしていただきますようお願い
いたします。

結びに、今年が皆様にとり、災害の無
い良い年でありますようご祈念申し上げ、
年頭の挨拶といたします。



(後列右から)

井上智恵議員
山崎宣佳議員
坂本順子議員
加藤進議員
渋谷幸司議員
柴田一典議員
松原謙司議員

(前列右から)

為水順二議員
森田敏男議員
小峯松治議長
矢内秀憲副議長
小高春雄議員
菊地敏昭議員

12 月
定例会一般会計補正予算など
14 議案を可決・同意

令和 7 年 第 6 回 川島町議会定例会は 11 月 27 日から 12 月 5 までの会期 9 日間の日程で開かれました。条例の制定や改正、一般会計補正予算など 14 議案を審議し、全ての議案を可決、同意しました。（各議案に対する議員の賛否は、5 ページをご覧ください）

〈議案第 65 号〉川島町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

町議会議員の期末手当が 0・05 月分引き
上げられました

令和 7 年 人事院勧告及び埼玉県人事委員会勧告の趣旨に鑑み、町議会議員の期末手当を 0・05 月分引き上げること可決しました。

〈議案第 66 号〉町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例

町長・副町長・教育長の期末手当が
0・05 月分引き上げられました

令和 7 年 人事院勧告及び埼玉県人事委員会勧告の趣旨に鑑み、町長、副町長及び教育委員会の教育長の期末手当を 0・05 月分引き上げること可決しました。

〈議案第 77 号〉教育委員会委員の任命について

新しい教育委員会委員に関口昭彦氏を
任命することに同意しました

教育委員会委員 猪鼻昌江氏の任期が令和 7 年 12 月 17 日で満了となるため、後任として関口昭彦氏を任命することに同意しました。

川島町議会活動レポート

福島県会津坂下町議会、沖縄県嘉手納町議会が行政視察に訪れる



会津坂下町議会



嘉手納町議会

福島県会津坂下町議会総務産業建設常任委員会（10月24日）および、沖縄県嘉手納町議会建設経済常任委員会（11月5日）が川島町を訪れ、空き家対策について行政視察しました。川島町では、官民連携による空き家対策事業（川島モデル）を実施しており、当日は、所管課であるまち整備課職員が説明、質疑への対応をしました。

両町とも空き家対策が急務となっており、活発な質疑応答が行われました。

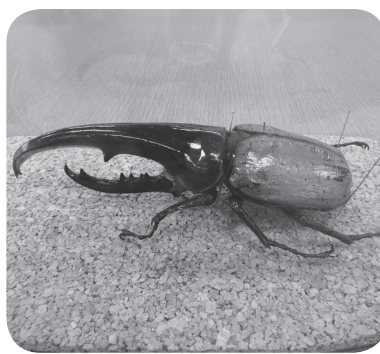
総務経済建設常任委員会

総務経済建設常任委員会は、11月28日（金）に議長より付託された4議案を審議しました。主な審議内容は次の通りです。

ふるさと納税返礼品

問 ふるさと納税の返礼品でヘラクレスオオカブトを追加するが、生き物を返礼品に追加できるのか

答 町内のキノコ栽培会社で、キノコ栽培をする際に使うおがくずを利用し、そのおがくずが非常に栄養豊富なため、その中でヘラクレスオオカブトの幼虫を育てると、大きく育つということです。生き物を返礼品にしている自治体は、他にもありますので、問題ないものと判断しました。



ふるさと納税返礼品に加わる
ヘラクレスオオカブト

結婚新生活支援事業補助金

問 結婚新生活支援事業補助金の当初予算の内訳と、今回補正する内訳は。

答 当初予算の内訳が29歳以下世帯の60万円3組で180万円でした。今回補正の内訳は29歳以下世帯の60万円3組、39歳以下世帯の30万円2組の合計240万円となっています。

浄水場の修繕

問 雷による浄水場の機器故障の修繕費の内容は。また、エアコン等周辺機器について被害はなかったのか。

答 施設の稼働に関する機械設備のみの破損であり、周辺機器への被害はありませんでした。

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会は、11月28日（金）に議長より付託された3議案を審議しました。主な審議内容は次の通りです。

こども誰でも通園制度

問 こども誰でも通園制度が新しく始まるが、現行の一時保育事業との違いと定員数は。

答 こども誰でも通園制度と一時保育事業では対象年齢が異なり、生後6か月から1歳まではこども誰でも通園制度、1歳から就学前までは一時保育事業をご利用いただければと考えております。定員は、両制度合わせて10人の予定です。

コロナワクチン接種の自己負担

問 新型コロナワクチンの自己負担額について
答 ワクチン接種については、原則65歳以上の方が対象です。

比企医師会からは接種料金として、税込み1万7,340円が示され、自己負担額については、比企管内で情報交換した結果、近隣と合わせて1万2,000円としました。

各体育館エアコン・LED設置工事

問 各学校の空調・LED設置工事で不用額が多いが積算内容は。

答 予算編成の段階では、避難所としての体育館利用について、避難者1人当たりの面積を1.65㎡としていたが、快適な避難所空間を考慮して3.3㎡に変更し、収容人数を2,300人程度から1,161人に減員した結果、エアコンの台数が減ったことによるものです。



各学校に新設された体育館のエアコン

各 議 員 の 賛 否

※「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席を表しています。「－」は議長もしくは退席のため表決していません。

上程された議案	結 果	議 員 氏 名												
		井 上 智 恵	山 崎 宣 佳	坂 本 順 子	松 原 謙 司	加 藤 進	渋谷 幸 司	矢 内 秀 憲	柴 田 一 典	爲 水 順 二	森 田 敏 男	菊 地 敏 昭	小 高 春 雄	小 峯 松 治
条例の制定（議案第 6 4 号）														
川島町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例を定めることについて	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
条例の一部改正（議案第 6 5 号～ 6 8 号）														
川島町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
川島町一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
川島町体育施設設置及び管理条例の一部を改正する条例を定めることについて	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
規約の改正（議案第 6 9 号）														
川越地区消防組合同規約の一部を改正する規約を定めることについて	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
補正予算（議案第 7 0 号～ 7 6 号）														
令和 7 年度川島町一般会計補正予算（第 6 号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和 7 年度川島町水道事業会計補正予算（第 2 号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和 7 年度川島町下水道事業会計補正予算（第 2 号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和 7 年度川島町一般会計補正予算（第 7 号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和 7 年度川島町水道事業会計補正予算（第 3 号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和 7 年度川島町下水道事業会計補正予算（第 3 号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和 7 年度川島町一般会計補正予算（第 8 号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
委員の任命（議案第 7 7 号）														
教育委員会委員の任命について	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※議員名は、議席順となっています。

町の考えを問う

12月3日、4日に町政一般質問が行われ、7人の議員が登壇しました。各議員の質問事項と、その概要は次のとおりです。

※一般質問の内容は各質問議員によって編集されています。

※質問議員下の二次元コードを読み取ると、録画した動画を見ることができます。

小高 春雄 議員

- 1 教育・生涯学習について

教育・生涯学習について

問

子ども達の育成に更なる推進を進めます

答



小高 春雄 議員



坂本 順子 議員

- 1 重度障がい児・者の地域生活支援拠点等の事業について
- 2 上下水道管について

加藤 進 議員

- 1 これからのスポーツ少年団と中学生のスポーツ活動について
- 2 地域商社「さまちか」の今後の展開と町の支援体制について

松原 謙司 議員

- 1 新町長の農業に対する思いについて
- 2 カメムシ対策について
- 3 地方創生伴走支援の進捗状況について

菊地 敏昭 議員

- 1 町公共施設等総合管理計画について
- 2 学校施設と社会教育施設について

渋谷 幸司 議員

- 1 手話言語条例に基づく施策の推進について
- 2 会計年度任用職員の処遇改善について

山崎 宣佳 議員

- 1 川島町の外国人との共生社会について
- 2 新規に国民健康保険に加入する海外からの転入者への対応について

問 一貫校となったつばさ小学校の子ども達の学校生活は。

答 小中一貫校となり、児童生徒達からは、友人が増えた、授業での話し合いが活発になった、もつと交流したいなど感想があり、充実した学校生活を送っています。

問 中山小、伊草小を廃校とし、つばさ小学校とする考えは。

答 児童数の減少など課題はあるが、現時点では廃校は考えていない。今後、丁寧話し合い研究していきます。

問 不登校児童、生徒について。

答 日常の授業では教師が児童生徒に対して、共感的な理解を示し、自己表現の機会の場を設けています。今年度、不登校対策プロジェクト協議会を立ち上げました。幼保、小中に至るまで、町全体でネットワークを密に組織的な対応支援を行い、進路についても、生徒、保護者と丁寧に話し合いを継続していきます。

問 道徳教育について。

答 週一時間の授業で、自分の価値観を見つめ、感謝・友情・信頼等の学習を通して、道徳的判断力の育成に努めていきます。

問 高校無償化について。

答 経済面で緩和されるため、進路を選ぶ際、学習意欲や適性、興味関心に基づく選択を幅広く検討できることから、学校も生徒と話し合い、より良い進路を作り上げていきたいと考えます。

問 伊草公民館旧館の取り壊しについて。

答 旧館は、取り壊しを計画しています。取り壊した場合、トイレ等、利用者が快適に過ごせるよう検討し、地元まちづくり協議会の地域部会などと協議します。



道徳教育に活用されている教科書

重度障がい児・者の地域生活支援拠点等とは

重度化・高齢化や「親亡き後」居住支援のための機能をもつ場所や体制です

答 居住支援のための機能である

「①相談支援、②緊急時の受け入れ対応、③体験の機会や場の提供、④専門的な人材の育成、⑤地域の体制づくり」を地域の実情に応じた創意工夫により整備を図ることです。

問 緊急時の相談支援の実施や短期入所等の受入体制の整備は。

答 地域における生活の安心感を担保していくためにも必要な事ですので、引き続き関係機関との協議を進めてまいります。

問 今後、本町に拠点となるような公共施設の活用は考えているのか。

答 民間のお力をいただければ選
択肢に資産活用ということも考え
ていきたいと思っています。

問 下水道管の経年劣化状況の調査はどのようにされているのか。

答 マンホールの蓋やマンホール内については目視で確認し、下水



道管の中はテレビカメラを入れ腐食や亀裂などの調査をしています。

問 上水道の、有収率が低下している理由と対応策は。

答 配水管のみならず、給水管の老朽化も進み、漏水が増加していることが原因として考えられます。このことから、検針員や職員による漏水の確認を行うとともに、住民の方から漏水の可能性があるという連絡があった時は、速やかに現地を確認し、修繕をします。



坂本順子
議員

「かわじま工房」を「さまちか」
が受け継いでいくのか

「一般社団法人さまちか」が継承していきます

スポーツ少年団の勧誘が難し

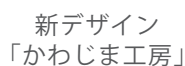
くなっています。特に野球については、中学に部活動がなく、クラブチームに入るにも親の帯同や費用、距離の問題で続けられない子どもたちが多くいます。せっかく小学生の時から打ち込んできたスポーツを、中学進学を機に諦めるケースがあるのは非常に残念です。サッカーやバレーボールでも同様の声を聴きますが、町として活動状況をどう把握し、どのように支援や地域移行への対応を進めていくのか。

答 本町では部員数及び生徒数減

少により既存の部活動維持が困難です。地域クラブやスポーツ少年団と連携し、受け皿確保や施設利用支援、指導者体制の充実に努めています。国の地域移行の動きを踏まえ、まずは町内で、子ども達が継続してスポーツに取り組める環境整備を進めてまいります。

問 中学の部活動を地域に移行するのは、いつ頃なのか。

スポーツ少年団や地域サーク

加藤進
議員

ルなどの地域クラブや総合型地域スポーツクラブと連携、協力し、最終年度2031年度（令和13年度）までに地域展開できるように進めてまいります。

問 地域資源を活用した町の活性化を目的に設立された地域商社「さまちか」は、特産品販売や観光体験事業などで役割を果たしています。「かわじま工房」の事業を継承し、今後の展開や商工会との連携を考えているのか。

答 もちろん、商工会との連携は考えています。

問

新町長の農業に対する思いは

答

色々な形で支援を考えたい



松原 謙司 議員

問 農業の現状について、どのような認識をお持ちか。

答 本町の農地は約2200ヘクタールあり、そのうち耕作放棄地は2%ほどです。皆さんの農地管理に対する努力の賜物で、感謝を申し上げます。

問 農業の維持発展に資するための施策は。

答 ICTを活用したスマート農業の推進、新規就農者及び農業法人設立支援、農福連携の3点をはじめ「稼げる農業」を目指してまいります。

問 重点支援地方交付金を活用した農業分野への支援は。

答 今回は物価高騰により経済的に困りの方への支援を行うため、農業分野に特化した支援は考えておりません。

問 令和6年にカメムシが大量発生しました。病害虫対策は地域全体で対処する必要があります。農薬代の補助の検討は。

答 被害は埼玉県全域、また37都府県にも及んでいるので、町単独

ではなく、国に支援して頂きたい。

問 国の府省庁の職員が中小規模の自治体を支援する地方創生伴走支援ですが、進捗状況は。

答 廃校施設の利活用と農業施策の検討を行っています。

問 農業分野での取組は。

答 川島版就農支援モデルの確立に向けて検討しています。

問 来年度も継続支援を国に要請する考えは。

答 ある程度形になれば一つの区切りですが、成果をみながら考えていきます。



さらなる農業の発展を

問

公共施設等総合管理計画は

答

財政負担の軽減・平準化に取り組めます



菊地 敏昭 議員

問 旧出丸・旧小見野公民館の解体総額は、また旧八ッ保公民館は。

答 旧出丸は約1,667万円、旧小見野は約2,691万円です。旧八ッ保は約2,771万円です。

事業費は集約化・複合化に伴う除却を活用し、充当率は90%で、元利償還金の50%が地方交付税措置され、残り10%は町公共施設整備基金です。

問 旧八ッ保公民館の盆踊りは。

答 今後も実施できるように電気・水道を再設置します。

問 町公共施設カルテによる維持管理費は。

答 施設の修繕や維持には、毎年多額の費用を要し、人口減少による税収減、施設利用者の減少、高齢化に伴う義務的費用の増大により、全ての公共施設の維持は困難です。総延床面積削減に向けて取り組めます。

問 旧出丸・旧小見野小学校の年間維持費（4年間の平均）は。

答 旧出丸小約173万円、旧小見野小約222万円です。人件費

改修維持費約1,207万円です。

問 白井沼地内のゲートボール場の状況は。

答 用途廃止後に普通財産となり、政策推進課の管理になるので活用方法を検討します。

問 旧庁舎付帯施設（公用車の車庫等）の状況は。

答 除草した雑草の仮置き場として、シルバー人材センターへ貸し出ししています。現在売却等の予定はありません。

問 町公共施設カルテでは、一人当たり約8万7千円、全体で約16億9千万円かかるが。

答 削減目標達成に取り組みます。



旧八ッ保公民館跡地は
どうなるの？

問

手話講座等の開催に取り組む考えは

答

新年度以降に開催できるように検討します

問

「川島町手話言語条例」が9月議会でも可決・成立しました。この条例の目的を推進するために具体的な取組は何か。また、学校教育での手話学習の推進は。

答

新年度以降、埼玉県聴覚障害者協会等と調整して手話講座の開催や、手話奉仕員の養成にも取り組みます。万が一の緊急時に、聴覚障害の方にも、消防署等への緊急通報システムを取り入れられるように努力します。また、他の自治体でも活用を始めた手話通訳オペレーターを介した「電話リレーサービス」の導入も検討しています。

そして、町内の小中学校においても児童生徒が「手話を学ぶ」環境整備を、社協や県立特別支援学校坂戸ろう学園との連携を通して、交流活動を取り入れていきます。

問

会計年度任用職員は、会計年度ごとの1年契約の為に「雇用が継続されるか不安」との声が絶えません。住民のいのちと暮らしを支える役割を發揮するためにも

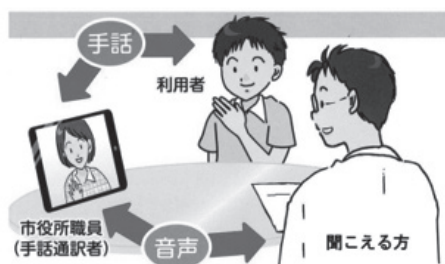


渋谷 幸司 議員

安心して働き続けられるよう処遇改善に取り組む考えは。

答

現在、正規職員は158人、会計年度任用職員は159人（その内、男性が38人、女性が121人）です。また、5年以上継続している方は41人います。昇給上限5年を撤廃することについては、一定の上限を設けることには問題ないと考えています。来年度に統合される保育園の会計年度任用職員については、希望に沿えるように調整をしていきたいと考えています。



※出雲市のHPより引用

導入が期待される「遠隔手話通訳サービス」

問

川島町の外国人との共生社会は

答

秩序ある共生社会へ関心を高めたい

問

川島町にとって外国人との共生は重要だと考えるが町の見解は。

答

お互いの文化を理解し共存共栄を図っていく「多文化共生」の考え方が重要と考えています。同じ町民として共に地域を担うパートナーとして認め、お互いの能力を活かせる社会環境づくりが必要と考えます。外国人との秩序ある共生社会の実現に向け、町民の意識や関心を高めてまいります。

問

町長は、今の日本の風潮が外国人へのヘイトスピーチや排外主義につながることに不安や懸念を感じているか。

答

外国人への偏った報道があると感じています。今のところ川島町では大きなトラブルはございません。日本のルールや生活習慣を丁寧に伝え、共に溶け込んでいただくのが大前提と思っています。

問

新規に国民健康保険に加入する海外からの転入者へ国民健康保険税の前納を導入するのか。

答

国保税未納で帰国する外国人対策や納付率向上の観点から有効



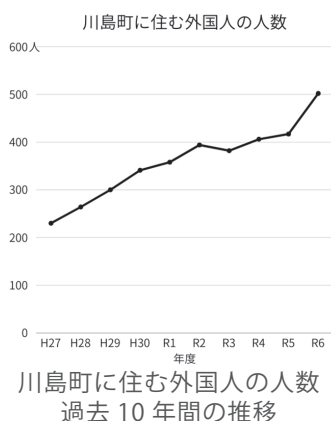
山崎 宣佳 議員

な手段であると認識していますが、制度を導入するには条例改正やシステム改修などが必要ことから、国や県及び近隣市町村の動向などを参考に時間をかけて検討してまいります。

問 国保税水準の県内準統一に向けて不公平感を改善する必要性は。

答

不公平感を無くす取り組みが必要だと認識しています。現状として外国人の国保税納付率が低い状況が続くと、財源確保が難しくなり、標準保険税率の上昇につながる可能性があるので、県全体で検討すべき課題と捉えています。



議会日誌

10月

- 2日 議会報編集委員会
- 8日 行財政特別委員会
埼玉県町村議会議員研修会
- 10日 議会報編集委員会
- 24日 福島県会津坂下町議会視察受け入れ
- 26日 消防特別点検(雨天中止)

11月

- 5日 沖縄県嘉手納町議会視察受け入れ
- 9日 川島町防災訓練
- 11日～12日 議会運営委員会所管事務調査
- 21日 議会運営委員会
議会全員協議会
- 27日～ 12月定例会

12月

- 4日 議会報編集委員会
- ～7日 12月定例会
- 19日 議会報編集委員会
- 22日 行財政特別委員会
- 26日 地方創生特別委員会

3月の定例会予定

3月の定例会は3月4日に
開会予定です。

※予定が決まり次第、町ホームページ
でお知らせいたします。

相	委	副	委
談	員	員	員
役	員	員	員
小	井	山	坂
峯	上	崎	本
松	智	宣	順
治	恵	佳	子
			司
			憲

議会報編集委員会

令和7年 川越地区消防組合議会第3回定例会

菊地 敏昭・爲水 順二・矢内 秀憲

令和7年10月1日に、会期1日間で開催され議案第10号から議案第20号までの11議案が審議されました。全ての議案について認定可決されました。

なお、令和7年第6回川島町議会定例会(12月定例会)において、「川越地区消防組規約の一部を改正する規約を定めることについて」を可決いたしました。主な内容は下記のとおりです。

・川越地区消防組合の事務所を「川越市神明町48番地4」から「川越市御成町1番地1」に変更する。

・組合経費の負担割合を川越市90%、川島町10%から、各市町に配置された消防署・分署及び緊急車両の維持管理に要する経費並びに、配置された職員の人件費に関してはそれぞれの市町が負担し、その他の経費については各市町の基準財政需要額等の割合から算出するものに変更する。

表紙解説

全国各地に有名な雲海スポットがありますが、埼玉県内では秩父の雲海が良く知られています。秩父ミューズパークや美の山公園など、秩父盆地を見下ろせる場所で見える事ができます。雲海シーズンの秋には、多くの人が見物に訪れます。きれいな雲海ですが、川島町でも出現します。表紙の撮影場所ですが、釘無地区の土手の上です。川の上に出現するので川霧と言います。日の出直前が一番きれいで、日の出とともに徐々に消えていきます。実際に見える幻想さは、写真では伝えきれません。自然豊かな川島町では四季折々の美しい景色が広がります。地元の人にはいつもの風景ですが、町外の人にも魅力を広めていきたいです。

(写真・文章/松原)

編集後記

昨年は、四月～十一月のクマによる人的被害が、二十三年度の二百十九人を更新し二百三十人を上回ったとのこと。人間が開発を進めたことや温暖化も重なりドンブリなどの餌不足で、クマの生息地が脅かされ、食料を求めるクマが人里にあらわれ、各地で犠牲者が出た。しかし、クマの捕獲対策には、人身被害の防止という効果がある一方で、生態系の影響や捕獲後の対応困難など様々な問題点や課題もある。また、現場での対応を担う鳥獣専門指導員や高齢化によるハンター不足も指摘される。空腹で冬眠できず人里をさまようクマを見るにつけ、人間が全ての原因ではないかと心が痛むのはわたしだけでしょうか。

(坂本)